

適性検査Ⅰ 出題のねらい（令和4年2月3日実施）

問1 神奈川県の高橋と道路を題材に、会話文や資料、図の内容を読み取ったり、行き方を考えたりすることを通して、主に表現コミュニケーション力及び科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、横浜ベイブリッジや風のつり橋、鶴見つばさ橋について読み取り、あてはまるものを選択する。
- (2) 図から、横浜駅から横浜ベイブリッジを通る羽田空港までの行き方は何通りあるかを求める。

図と表から、横浜駅から指定した地点を通らない羽田空港までの行き方のうち、距離が1番長い方から1番短い方をひいた距離の差を求める。

問2 重さを調べる方法を題材に、会話文や資料、表の内容を読み取り、ねんどのおもりの組み合わせ方やねんどのおもさの合計を求めることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料、表から、ねんどのおもりの組み合わせ方を読み取り、どのように組み合わせてもはかることができない重さの中で1番軽い重さを求める。
会話文と資料、表から、立方体A、立方体Bの重さを求める。
- (2) 会話文から、5個や7個のおもりを組み合わせではかることができる1番重い重さを求める。

問3 球技大会を題材に、会話文や資料、表の内容を読み取り、練習日や順位を求めることを通して、主に科学・論理的思考力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料から、C組が運動場や体育館を使った日を読み取り、あてはまるものを選択する。
- (2) 会話文と資料、表から、ドッジボールの試合のD組の順位を求める。
試合結果から、C組だけが総合で1位になる場合としてあてはまるものを選択する。

問4 算数の問題づくりを題材に、会話文や表、図の内容を読み取り、ふくろの中の玉の数を求めたり、4種類の立体を使って直方体を組み立てたりすることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と式、表から、ふくろの中にある玉の個数を求めたり、玉の種類としてあてはまるものを選択したりする。
- (2) 会話文と図から、使う立体の個数が1番少なくなる時の個数の合計を求める。
立方体Dを使う個数が1番少なくなる組み立て方の中で、使う立体の個数が1番少なくなる時の個数の合計を求める。

適性検査Ⅱ 出題のねらい（令和4年2月3日実施）

問1 議論の目的やそのやり方を題材に、資料の内容を読み取り、客観的に自分の考えを見えるようにする議論のやり方や学級目標の案をまとめたりすることを通して、主に表現コミュニケーション能力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 資料から、議論を通して学べることや取り入れたいことについて読み取り、あてはまるものを選択する。
- (2) 資料から、客観的に自分の考えを見えるようにする議論のやり方についてまとめ、文章で適切に表現する。

テーマに沿った学級目標を提案し、自分の案とは異なる案を出した人がいたら、どのように話し合うかについてまとめ、文章で適切に表現する。

問2 運動会の種目を題材に、会話文や表、図の内容を読み取り、おどる時間や回数を求めたり、段ボールを持つ人数や枚数を求めたりすることを通して、主に科学・論理的思考力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と表から、2つのおどりをおどる時間の合計を求める。
3つの組の動きが、すべて同じとなる小節は何回あるかを求める。
- (2) 会話文と図から、表の面と裏の面が同じ模様になる段ボールを持つ人数を求める。
表の面と裏の面が指示した模様になる段ボールの枚数を求める。

問3 木材の作品を題材に、会話文や資料、図の内容を正しく読み取り、組み立てるときの工作の材料の本数やわくの高さ、板の面積を求めることを通して、主に科学・論理的思考力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料、図から、Aの部分の組み立て方を読み取り、工作の材料の本数を求める。
- (2) 会話文と資料、図から、Bの部分の組み立て方を読み取り、わくの高さを求める。
Bの部分とCの板との重ね方を読み取り、Cの板の面積を求める。

問4 買い物のゲームを題材に、会話文や資料、図の内容を読み取り、材料を取る道順やカードの並べ方の順番を求めることを通して、主に科学・論理的思考力及び社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 会話文と資料、図から、材料を取る道順や進ませ方を読み取り、指定された材料を取る道順について何マス進ませるかを求める。
- (2) 会話文と資料、図から、材料を取る道順や1番枚数が少なくなるカードの並べ方を読み取り、並べたカードの枚数の差を求める。

材料を取る道順にカードを8つの中から7つ選び、順番に並べるとき、指示された順番にあてはまるカードの番号を選択する。